

令和4年度学校自己評価システムシート (県立上尾南高等学校)

目指す学校像	自分らしく未来に生きる力を育てる 一人一人が輝く学校
--------	----------------------------

重点目標	1 授業や探究的な学びを通じて、生徒一人一人に確かな学力を身につけさせる 2 キャリア探究活動を通して、生徒の個性や可能性を伸ばし、主体的な進路実現を支援する 3 生徒一人一人が役割や居場所を実感できる機会を提供し、達成感や充実感を自信と誇りにつなげる 4 教職員が責任と誇りをもち、保護者、地域と共に学校の魅力化を進める
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	(現状) 授業の工夫や教材を共有する気風を生かし、学校全体で組織的に授業改善に取り組んでいる。授業満足度は83.6%と目標を達成している。 (課題) ・観点別学習状況の評価の実施に向け、学校全体の共通理解を深め、指導と評価の一体化により、生徒の主体的な学びを引き出す授業を実現することが課題である。 ・キャリアパスポートを更に活用し学習を自己管理できる力を育成することが必要である。	○学習習慣の定着と自己学習力の向上	①朝活と家庭学習を前提とした授業を展開し、学習習慣を定着させる。 ②キャリアパスポートを活用し、自らの学習状況を把握させる。 ③外部テストの実施と結果を活用し、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる。	①学校評価アンケート「予習・復習をしている。」50%以上。 ②キャリアパスポートへの記録(通年)と振り返り(定期考査毎)。 ③外部テストの結果を昨年よりも向上させ、経年変化を分析。		
		○指導力の向上による組織的な学習支援体制の充実	①教員の指導力向上を図るため、授業公開や研究授業を実施する。 ②研究授業や授業観察を行い、教員の指導力向上に努め、生徒の学習意欲を高める。	①授業公開を年5日実施。初任者研修・5年次研修・中堅研修等にて、研究授業を実施。 ②学校評価アンケート「授業満足度」80%以上。		
2	(現状) 各種講座や検定試験対策講座等により進路実現に必要な力を育成している。進路指導満足度は生徒、保護者共に非常に高く、就職率100%を維持している。 (課題) ・系統的な進路指導体制を検証し、生徒の適性や可能性を引き出し、進路実現につなげることを課題である。 ・1年次より、家庭との協働体制を築き、進路実現を支援することが課題である。	○生徒一人一人の進路希望の実現に向けた計画的・組織的な進路指導の継続	①計画的な進路指導を実施し、生徒の進路を実現させる。 ②大学入試改革の対策を行い、進学希望者へ進学補習を実施する。 ③多様な受験形態に応じた柔軟な進路指導・面接指導を実施する。 ④就職希望者に対して、企業研究・面接指導を実施する。	①進路未決定者数を0に近づける。 ②毎学期中・長期休業中の学力向上講座の実施。大学短大の現役進学者数の増加(R3 70人) ③学校評価アンケート「進路指導に満足している。」90%以上。 ④就職内定率100%。		
		○きめ細かく丁寧な生徒指導の実践による基本的な生活習慣の確立	①生徒会による挨拶運動実施により、挨拶の励行。 ②毎学期に整容指導の実施により、整容指導の徹底。 ③校外交通安全立哨指導を年7日実施、自転車安全運転講習会を実施し、交通安全の徹底。	①学校評価アンケート「挨拶がきちんとできている。」90%以上。 ②学校評価アンケート「服装や頭髪について規則を守っている。」90%以上。 ③学校評価アンケート「自転車のマナーを守り、交通安全を守っている」100%。		
3	(現状) 全職員による組織的な生徒指導により、落ち着いた学校生活を維持してきた。一方で、学校生活に意欲を持っていない生徒も増加している。 (課題) ・仲間づくりや人間関係づくりの支援により、いじめ防止に組み込み安心・安全な学校生活を維持することが課題である。 ・進路実現につながることを意識させ、自律を促し、基本的な生活習慣を確立させる必要がある。 ・地域社会での学びを自信につなげる機会を増やすことが課題である。	○生徒の主体的な活動の支援による部活動の活性化	①部活動体験会・部活動見学会を実施し、加入率を向上させる。 ②部活動を通じた中高連携「フレンドシップ in あげなん」を実施し帰属意識の高揚。	①部活動の加入率80%以上を目指す。 ②参加部活動10以上、参加中学生800人以上。		
		○家庭や地域等への積極的な情報発信と連携・協力の推進	①学校説明会を通じて、魅力ある情報発信を行う。 ②HPによる学校の情報発信を積極的に行う。 ③地域に貢献するため、他校種との交流や地域のボランティア活動に積極的に参加する。	①学校説明会参加者数の延べ1200名以上。(R3 1124名) ②HPトップページの更新回数を年間50回以上、HPのアクセス数毎月平均10,000回以上。 ③上尾市内中学校との授業交流を実施、上尾特別支援学校と上尾南分校との交流を実施、地域のボランティア活動に参加。		
4	(現状) ・広報活動を積極的におこない、募集定員は確保できているが、中学生にとって魅力のある学校にする必要がある。 (課題) ・「生徒」の様子を見て、校風を肌で感じてもらう機会を増やし、魅力が伝わる方法を工夫する必要がある。 ・継続的に部活動を通じた交流活動や地域貢献活動をおこない、本校の教育力を発揮する場面を増やすことが課題である。	○家庭や地域等への積極的な情報発信と連携・協力の推進	①学校説明会を通じて、魅力ある情報発信を行う。 ②HPによる学校の情報発信を積極的に行う。 ③地域に貢献するため、他校種との交流や地域のボランティア活動に積極的に参加する。	①学校説明会参加者数の延べ1200名以上。(R3 1124名) ②HPトップページの更新回数を年間50回以上、HPのアクセス数毎月平均10,000回以上。 ③上尾市内中学校との授業交流を実施、上尾特別支援学校と上尾南分校との交流を実施、地域のボランティア活動に参加。		

学 校 関 係 者 評 価	
紙上開催実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	